

活動報告

会員ライフサポート部に所属して

会員ライフサポート部 三枝 南十（東海大学医学部付属病院）

会員ライフサポート部
活動報告 第26報

■はじめに

会員ライフサポート部に所属して、1年半が経過しようとしています。

部員になったきっかけは、当時、同じ職場で働いていた大槻理事より「男性の意見が欲しいから、ちょっと手伝って見ない？」と誘われた事から始まりました。誘われた時は、会員ライフサポート部とはどんな活動をするとところだろう・・・神奈川県士会の事務所に行くのだから雑用をこなすのかな？程度に思っ

て入部させていただきました。

会員ライフサポート部の活動は、理学療法士としての就労ライフにおける様々な問題を調査・研究し、会員の皆様に情報を提供しています。

入部初日より、パパPTに対するアンケートについての報告内容の検討、理学療法部門の責任者を対象とした出産・育児についてのアンケート作成など、仕事を終えてから会議が始まっているとは思えないほどの活気や内容に、発言も出来ずに居るだけでした。

それでも実際に1年半を会員ライフサポート部員として活動し、感じたことがあります。それは情報の大切さです。理学療

法士は患者さんのために知識・技術を向上させるだけでなく、環境を整えることでも患者さんに還元できるのだということです。

自身の置かれている立場や職場の環境をさらに働きやすくすることにより、患者さんのために動けるが増えるのではないのでしょうか？

これまで、会員ライフサポート部では

- 女性の職場環境
 - 男性理学療法士の父親としての育児に対する意識
 - 管理者（責任者）に向けての実態調査 など
- を行い、啓発活動に取り組んできました。

就労ライフは、さまざまなライフスタイルに合わせて日々変化していると思います。理学療法士の人口が増えることで、増えただけ問題が生じているでしょう。今後は、出産・育児・就業継続に加え、親の介護なども多く取り上げられる問題のひとつでしょう。皆様の問題解決の一つのツールに、会員ライフサポート部の情報が役に立てれば、幸いです。

平成22年度 会員ライフサポート部主催「交流会・研修会」のお知らせ

日頃育児で研修会に出られないママさんPT、子育て中のパパPTの皆さん、将来の結婚生活、子育てなどに不安を感じている若いPTの皆さん、すでに落ち着いて本格的に仕事復帰している、しようとしているPTの皆さん。「今さら聞けないシリーズ」と銘打って、日頃の疑問をすっきりさせる勉強会と、日頃の生活の不安や鬱憤、工夫などの情報交換の場を開催したいと思います。今年は託児室も本格的に設けました。新人教育プログラムの単位取得もできます。奮ってご参加ください。

日 時 ▶ 平成23年2月20日（日）14:00～16:30

内 容 ▶ ① 研修会（14:00～15:30）

「今さら聞けないシリーズ～内部疾患編（糖尿病）～」
講師：聖マリアンナ医科大学病院 理学療法士
平木幸治先生

② 交流会（15:40～16:30）*お子様同伴でどうぞ*
「生活と仕事の両立について情報交換」

定 員 ▶ 40名（先着順）

参加費 ▶ 無料

託児室 ▶（場所）ウィリング横浜9階

（お預かり可能な時間）13:45～16:30

（費用）無料（定員）10名

（委託業者）ポピンスコーポレーション

新人教育プログラム認定単位

1～3年次「理学療法トピックス1～3」あるいは3年次

2「生涯学習と理学療法の専門領域」のうち1単位が認定されます。

申込方法 ▶ ①氏名 ②会員番号 ③所属 ④連絡先電話番号

⑤年齢 ⑥託児室の利用を希望する場合は、お子様の人数と性別、年齢をご記入の上、問い合わせ先のメールアドレスへお申込み下さい。

申込締切 ▶ 平成23年2月10日（木）

問い合わせ ▶ 聖マリアンナ医科大学病院

リハビリテーション部 寺尾詩子

e-mail : mari-utako@marianna-u.ac.jp